

船舶事故調査報告書

平成31年3月20日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	火災
発生日時	不明（平成30年3月18日 18時00分ごろ～19日 16時19分ごろの間）
発生場所	沖縄県石垣市登野城漁港 石垣港登野城第2防波堤灯台から真方位028° 80m付近 （概位 北緯24° 20.0′ 東経124° 09.8′）
事故の概要	プレジャーボートゴールデンハウスは、係留中、火災が発生した。
事故調査の経過	平成30年3月20日、主管調査官（那覇事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート ゴールデンハウス、18トン
船舶番号、船舶所有者等	296-15725 沖縄、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	操舵室に焼損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南西、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	<p>本船は、登野城漁港の岸壁に無人の状態に係留中、平成30年3月19日16時19分ごろ、通行人が、本船の操舵室から煙が上がるのを発見し、地元消防署に通報した。</p> <p>船長は、本船から火災が発生していると知人から連絡を受け、登野城漁港の岸壁に駆けつけた。</p> <p>本船は、地元消防署消防士が操舵室付近から黒煙及び火炎が噴出していることを認め、16時37分ごろポンプ車による消火活動によって鎮火し、操舵室前部右舷側の舵輪付近の燃焼が強かったことが確認された。</p> <p>本船は、新造から約29年が経過しており、船長が約20年前に沈没して引き揚げられたものを譲り受けて修理を行い、約15年前から使用されていた。</p> <p>本船は、年に数回使用されており、本事故の直近では、約1年前に使用されていた。</p> <p>船長は、本事故前日18時00分ごろ船内のエアコン及び冷蔵庫を停止して帰宅した。</p> <p>本船は、機関室に自動拡散型の消火装置2個が設置されていたが、操舵室には設置されていなかった。</p>
分析	本船は、登野城漁港に係留中、操舵室前部右舷側付近から出火したものと考えられる。

原因	本事故は、本船が、登野城漁港に係留中、操舵室前部右舷側付近から出火したものと考えられる。
-----------	----------------------------------------------